

目 次

1. 科学研究費及び受託研究費に係る計算機利用について	1
2. 平成4年度利用申請の受付について	2
3. 平成5年度利用申請の受付について	3
4. 学術情報ネットワークによるサービスの一時停止について	5
5. DRPGMAの運用停止について	5
6. ROMBGS, ROMBGDの運用停止について	6
7. GSRENS, GSRENDの運用停止について	7
8. 平成5年度プログラム相談員の募集について	8
9. 平成5年度(前期)ライブラリプログラム開発計画募集について	8
10. 平成5年度公用データベース提供課題 公用データベース用ソフトウェア開発課題の申請について	10

1. 科学研究費及び受託研究費に係る計算機利用について

1. 利用期限

科学研究費に係る計算機の利用・・・1月28日(木)又は2月20日(土)

受託研究費 “・・・2月20日(土)

2. ジョブの強制依頼

例年1, 2月はジョブが多く、当該月内に処理できないことがありますので、上記研究に係る計算機利用で、特に長時間ジョブについては、早めに処理依頼を行ってください。

3. ジョブの強制出力

利用期限が2月20日(土)の科学研究費及び受託研究費に係るジョブについては、利用期限当日までに入力されたジョブは、すべて強制出力を行いますのでご了承ください。

又、利用期限が1月28日(木)の科学研究費に係るジョブについては、強制出力を行います

せんのでご注意ください。特に科学研究費の計算負担金額を1月末で確定する必要のある利用者は、必ず1月末迄に利用者各自で出力まで終了させてください。

#### 4. ジョブの負担金キャンセル

ジョブの負担金キャンセルは、科学研究費に係る利用で、利用期限が1月28日（木）のものについては、1月30日（土）迄に、利用期限が2月20日（土）のもの及び受託研究費に係るものについては、2月22日（月）迄に、当該計算結果を添えて2階受付又はプログラム相談室にキャンセル依頼を行ってください。

なお、連絡所からの利用者で、上記期日までにキャンセル依頼が間に合わないと思われる方は、あらかじめシステム運用掛までご連絡ください。

#### 5. 利用負担金の請求

科学研究費に係る1月分の利用負担金の請求は2月初旬に、2月分は2月末に請求処理を行います。

又、受託研究費による利用負担金は、12月分までの請求処理を翌年1月初旬に行っています。1月分の請求処理は2月初旬に、2月分の請求処理は2月末に行います。

なお、上記研究による利用での利用負担金は、校費等での振替払いはできませんので利用に当たってはご注意ください。

システムで行っている予算管理では、予算（当初の利用予定金額－実利用金額）が1円でも残っていればセッション、あるいはジョブを受け付けます。従って、結果的に予算オーバーとなることがありますので十分ご注意ください。

#### 6. データセットの取扱い

利用期限切れとなった登録番号のデータセットは、利用期限の翌月の8日に消去しますので、必要なデータセットは各自で保存処理を行ってください。

（システム運用掛 内線2517）

## 2. 平成4年度利用申請の受付について

本年度の利用申請（新規・追加）の受付は、2月26日（金）で、また、科学研究費による利用申請（新規・追加）の受付は、1月25日（月）で締切ります。

（共同利用掛 内線2532）

### 3. 平成5年度利用申請の受付について

#### \* 継続申請について

##### 1. 九大センターを「所属センター」としている場合

平成4年度九大センターを所属センターとしている利用者には、「計算機利用申請書（継続用）」を1月下旬までに送付しますので、引き続き利用される方は、その申請書の説明を熟読の上、2月1日（月）～3月10日（水）までに継続申請を行ってください。

##### 2. 九大センターを「所属センター」とし、他センターを「第二センター」としている場合

上記1. の継続手続きの承認をうけた後、「SINSEI」コマンドで3月19日（金）までに当該センターへ継続手続きを行ってください。

##### 3. 九大センターを「第二センター」としている場合

所属センターの継続手続きの承認をうけた後、所属センターの用意したコマンドで3月19日（金）までに九大センターへ継続手続きを行ってください。

##### 4. 九大センターのUXPシステムを継続利用する場合

上記1. または3. の継続手続きの承認をうけた後、「SINSEI」コマンドで平成4年度最終運用日までにUXPシステムの継続手続きを行ってください。

#### \* 新規・追加申請について

平成5年度新規・追加利用申請の受付開始は3月1日（月）からです。

(別表)

九大センター申請種類別利用受付期間一覧

申請種類	所属センターとしての 受付期間	第二センターとしての 受付期間
平成4年度新規・追加	～H5. 2. 26	～H5. 3. 19
“ 変更・取消	～ H4年度最終運用日	～ H4年度最終運用日
平成5年度への継続	H5. 2. 1～H5. 3. 10	H5. 2. 1～H5. 3. 19
平成5年度新規・追加	H5. 3. 1～	H5年度運用開始日～
“ 変更・取消	H5. 4. 1～	H5年度運用開始日～

他センター申請種別利用受付期間一覧

センター名	申請種別	所属センターとしての受付期間	第二センターとしての受付期間
北大 センター	H4年度新規・追加	~H5. 3. 30	~H5. 3. 30
	" 変更・取消	~H5. 3. 30	~H5. 3. 30
	H5年度への継続	H5. 2. 1~H5. 4. 15	H5. 2. 1~H5. 3. 19
	H5年度新規・追加	H5. 3. 1~	H5. 4. 1~
	" 変更・取消	H5. 4. 1~	H5. 4. 1~
東北大 センター	H4年度新規・追加	~H5. 2. 26	~H5. 2. 26
	" 変更・取消	~H4年度最終運用日	~H4年度最終運用日
	H5年度への継続	H5. 1. 25~H5. 3. 12	H5. 1. 25~H5. 3. 19
	H5年度新規・追加	H5. 3. 16~	H5. 4. 1~
	" 変更・取消	H5. 4. 1~	H5. 4. 1~
東大 センター	H4年度新規・追加	~H5. 2. 26	~H5. 2. 26
	" 変更・取消	~H4年度最終運用日	~H4年度最終運用日
	H5年度への継続	H5. 2. 1~H5. 2. 26	H5. 2. 1~H5. 3. 19
	H5年度新規・追加	H5. 3. 15~	H5年度運用開始日~
	" 変更・取消	H5. 4. 1~	H5年度運用開始日~
名大 センター	H4年度新規・追加	~H5. 2. 25	~H5. 2. 25
	" 変更・取消	~H4年度最終運用日	~H4年度最終運用日
	H5年度への継続	H5. 2. 12~	H5. 2. 12~H5. 3. 19
	H5年度新規・追加	H5. 2. 12~	H5年度運用開始日~
	" 変更・取消	H5. 4. 1~	H5年度運用開始日~
京大 センター	H4年度新規・追加	~H5. 2. 15	~H5. 2. 15
	" 変更・取消	~H4年度最終運用日	~H4年度最終運用日
	H5年度への継続	H5. 2. 1~H5. 3. 10	H5. 2. 1~H5. 3. 19
	H5年度新規・追加	H5. 3. 11~	H5年度運用開始日~
	" 変更・取消	H5年度運用開始日~	H5年度運用開始日~
阪大 センター	H4年度新規・追加	~H5. 2. 26	~H5. 2. 26
	" 変更・取消	~H4年度最終運用日	~H4年度最終運用日
	H5年度への継続	H5. 2. 1~H5. 3. 19	H5. 2. 1~H5. 3. 19
	H5年度新規・追加	H5. 3. 1~	H5. 4. 1~
	" 変更・取消	H5. 4. 1~	H5. 4. 1~
学情 センター	H4年度新規・追加	~H5. 2. 26	~H5. 2. 26
	" 変更・取消	~H4年度最終運用日	~H4年度最終運用日
	H5年度への継続	H5. 2. 1~H5. 3. 19	H5. 2. 1~H5. 3. 19
	H5年度新規・追加	H5. 3. 25~	H5年度運用開始日~
	" 変更・取消	H5. 3. 25~	H5年度運用開始日~

<注>詳しくは各センターのセンターニュースを御覧下さい。

(共同利用掛 内線2532)

#### 4. 学術情報ネットワークによるサービスの一時停止について

学術情報ネットワークの整備拡張のため、これによる大学間ネットワーク及びMHS電子メールが下記期間中一時的に使用できなくなる事がありますのでお知らせします。

記

期 間 平成5年1月23日(土) 00:00 から  
1月27日(水) 09:00 まで

(ネットワーク掛 内線2543)

#### 5. DRPGMAの運用停止について

標記プログラムは1971年(昭和46年)に九州大学大型計算機センターのライブラリ開発課題として登録されたプログラムで、実変数ガンマ関数の逆数を多項式展開を行い、その係数の決定をWernerとCollingeの方法を用いて倍精度で計算する関数です。

過去におけるセンターのライブラリカウントの結果、利用者が少数であることと、同程度の機能を有するライブラリがNUMPACにサポートされていることから、開発者の許可を頂きましたので、ライブラリの運用を1993年3月末日をもって停止します。

なお、各サブルーチンは次で代行下さい。

	NUMPAC(単精度)	NUMPAC(倍精度)
DRPGMA	RGAMA	DRGAMA

NUMPAC サブルーチンの使用方法は参考文献[2]をご覧ください。

DRPGMA のソースプログラムは1993年3月末日までLIBCOPY コマンドでコピーが可能です。メンバ名をC3DRPGMAと指定されて、私用のライブラリとして自身のデータセットにコピーした上で今後使われても結構ですが、管理運営はユーザ自身の責任でされるようお願いします。

運用停止によってその他支障の生じる方は、早めにライブラリ室までご連絡下さい。

#### 【参考文献】

- [1] 「LIBCOPYの公開について」九州大学大型計算機センター広報, Vol.24, No.3, p286, 1991.
- [2] 「ライブラリ・プログラム利用の手引(数値計算編:NUMPAC Vol.3)」名古屋大学大型計算機センター.
- [3] 「利用の手引・ライブラリ編」九州大学大型計算機センター, 1976.(改訂中)

(ライブラリ室 内線2509)

e-mail : f70029a@kyu-cc. cc. kyushu-u. ac. jp

## 6. ROMBGS, ROMBGDの運用停止について

標記プログラムは 1971年（昭和46年）に九州大学大型計算機センターのライブラリ開発課題として登録されたプログラムで、有限区間の定積分を Romberg法を用いて単精度および倍精度で計算する関数です。

過去におけるセンターのライブラリカウントの結果、利用者が少数であることと、同程度の機能を有するライブラリが NUMPAC にサポートされていることから、開発者の許可を頂きましたので、ライブラリの運用を1993年3月末日をもって停止します。

なお、各サブルーチンは次で代行下さい。

	NUMPAC(単精度)	NUMPAC(倍精度)
ROMBGS ROMBGD	ROMBGS	ROMBGD

NUMPAC サブルーチンの使用方法は参考文献 [2], [3] をご覧下さい。

ROMBGS, ROMBGD のソースプログラムは 1993年3月末日まで LIBCOPY コマンドでコピーが可能です。メンバ名を DIROMBGS, DIROMBGD と指定されて、私用のライブラリとして自身のデータセットにコピーした上で今後使われても結構ですが、管理運営はユーザ自身の責任でされるようお願いします。

運用停止によってその他支障の生じる方は、早めにライブラリ室までご連絡下さい。

### 【参考文献】

- [1] 「LIBCOPYの公開について」九州大学大型計算機センター広報, Vol.24, No.3, p286, 1991.
- [2] 「ライブラリ・プログラム利用の手引（数値計算編:NUMPAC Vol.2）」名古屋大学大型計算機センター.
- [3] 「ROMBER の運用停止について」九州大学大型計算機センターニュース, No.476, 1992.
- [4] 「利用の手引・ライブラリ編」九州大学大型計算機センター, 1976.（改訂中）

（ライブラリ室 内線2509）

e-mail : f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

## 7. GSRENS, GSRENDの運用停止について

標記プログラムは 1970年（昭和45年）に九州大学大型計算機センターのライブラリ開発課題として登録されたプログラムで、実行列の連立一次方程式の解を Gauss-Seidel 法により単精度および倍精度で求めるサブルーチンです。

過去におけるセンターのライブラリカウントの結果、利用者が少数であることと、同程度の機能を有するライブラリが SSL II, NUMPAC にサポートされていることから、開発者の許可を頂きましたので、ライブラリの運用を1993年3月末日をもって停止します。

なお、各サブルーチンは次で代行下さい。

	SSL II（単精度）	SSL II（倍精度）	NUMPAC(単精度)	NUMPAC(倍精度)
GSRENS	LAX	DLAX	GELIMV	GELIMW
GSREND	VLAX（拡張機能）	DVLAX（拡張機能）		

- \* SSL II は富士通株式会社提供の科学計算用サブルーチンパッケージです。
- \* 「拡張機能」とはベクトルプロセッサ VP-2600 向けに作成されたサブルーチン群です。使用方法は一般の SSL II と同じですが、FORTRAN77 EX/VP において威力を発揮します。
- \* NUMPAC は名古屋大学大型計算機センター提供の科学計算用サブルーチンパッケージです。

GSRENS, GSREND のソースプログラムは 1993年3月末日まで LIBCOPY コマンドでコピーが可能です。メンバ名を F4GSRENS, F4GSREND と指定されて、私用のライブラリとして自身のデータセットにコピーした上で今後使われても結構ですが、管理運営はユーザ自身の責任でされるようお願いいたします。

運用停止によってその他支障の生じる方は、早めにライブラリ室までご連絡下さい。

### 【参考文献】

- [1] 「LIBCOPYの公開について」九州大学大型計算機センター広報, Vol. 24, No. 3, p286, 1991.
- [2] 「SSL II 使用手引書（科学用サブルーチンライブラリ）」(99SP-0050), 富士通株式会社.
- [3] 「SSL II 拡張機能使用手引書（科学用サブルーチンライブラリ）」(99SP-4070), 富士通株式会社.
- [4] 「ライブラリ・プログラム利用の手引（数値計算編:NUMPAC Vol.1）」名古屋大学大型計算機センター.
- [5] 「利用の手引・ライブラリ編」九州大学大型計算機センター, 1976.（改訂中）

（ライブラリ室 内線2509）

e-mail : f70029a@kyu-cc. cc. kyushu-u. ac. jp

## 8. 平成5年度プログラム相談員の募集について

当センターでは、月曜日から金曜日の13時30分～17時30分までプログラム相談を行っています。質問者への助言、技術指導等のため下記によりプログラム相談員を募集しますのでふるってお申し込みください。

なお、詳細は共同利用掛にお尋ねください。

### 記

- |         |  |
|---------|--|
| 1. 応募資格 | センター利用有資格者                                       |
| 2. 担当時間 | 週1回（2時間）<br>但し、夏期休暇中（7/11～9/10）は、期間内に2回程度        |
| 3. 任期   | 平成5年4月～平成6年3月                                    |
| 4. 特典   | 指導用計算機時間（年間120分）<br>富士通マニュアル一定限度まで無償配布           |
| 5. 申込期限 | 2月16日（火）まで                                       |
| 6. 申込み先 | 九州大学大型計算機センター                      共同利用掛（内線2532） |

## 9. 平成5年度（前期）ライブラリプログラム開発計画募集について

ライブラリプログラム開発計画募集要領（後述）に基づき、標記開発計画を下記のとおり募集します。多数の応募を歓迎致します。

### 記

- |         |   |
|---------|---|
| 1. 応募資格 | 本センター利用有資格者   |
| 2. 応募締切 | 平成5年3月1日（月）   |
| 3. 応募手続 | 所定の申請書に必要事項を記入の上、ライブラリ室（内線 2509）まで提出する。<br>（申請書および募集要領は、ライブラリ室に用意してありますので、請求して下さい。） |
| 4. 対象課題 | a) 広く各分野で使われる可能性のあるプログラムの開発。<br>b) ある専門分野に限られるが、その分野では広く使われる可能性のあるプログラムの開発。         |

なお、開発されたプログラムは、なるべく早い時期にセンターのライブラリプログラムとして登録および公開するものとしますが、これら開発に関する事項の詳細については、次項に示す募集要領を参照してください。



## ライブラリプログラム開発計画募集要領

### 1. 対象となる課題

- a) 広く各分野で使われる可能性のあるプログラムの開発.
- b) ある専門分野に限られるが、その分野では広く使われる可能性のあるプログラムの開発.

ただし、次のような課題については原則として認めない.

- i) 一般的な手法が確立されていなくて、研究的性格の強い課題.
  - ii) 他センター等のプログラムの書替え・移植において、その作業が極めて容易であると考えられる課題.
2. 公募は年2回（前期，後期）とする。申請された課題は、締切の翌月のプログラムライブラリ委員会（以下，委員会）で審査する。ただし、開発に際し、多数の長大ジョブの実行が必要であると考えられる場合は、原則として前期に申請し、繁忙期に入る前（11月位）までに開発を終了するものとする。

前期締切：2月末日（開発開始は 4月1日予定）

後期締切：8月末日（開発開始は10月1日予定）

採用された課題は、センターニュースで広報する。

### 3. 開発者の義務

- i) 開発終了後、早い時期にライブラリプログラムとして登録および公開するものとする。
- ii) 利用者のための「利用の手引き」を作成する。これを終了報告書として委員会で審議する。
- iii) 開発したプログラムの概要あるいはその使用法をセンター広報に掲載する。

### 4. 開発に係る経費等

- i) 採用された課題に対して、ライブラリ開発用の登録番号を割当て、それに係る計算機利用負担金は、センターで負担するものとする。計算機利用負担金の限度額は、申請時の計算時間により別に定める。
- ii) 計算機利用負担金以外で開発に必要な旅費、雑費等は、この開発計画による負担の対象とはしないので留意すること。

### 5. 開発作業

- i) ライブラリ開発は年度毎（4月～翌年3月）とする。開発継続の場合には、十分な資料とともに継続申請書を提出する。
- ii) 開発継続の場合にも、完成した範囲内で登録手続きをとることが望ましい。
- iii) 同一課題での継続は、原則として3年までとする。

## 6. その他

- i) 申請書に不明な個所があったり、申請計算時間が過大であると思われる場合や、開発経過が不首尾であると考えられる場合は、委員会にて口頭説明を求めることがある。
- ii) サブルーチンまたは関数副プログラムのライブラリの場合、既に登録してあるものと呼び出し名が同一にならないように注意すること。
- iii) オンラインマニュアル（計算機に格納され利用可能なマニュアル）を用意することが望ましい。

### 申請計算時間と予算額

計算時間（分）	60	120	180	240	300	360	420	480	540
予算額（万円）	10	15	20	25	30	35	40	45	50

（ライブラリ室 内線 2 5 0 9）

e-mail: f70029a@kyu-cc. cc. kyushu-u. ac. jp

## 10. 平成5年度公用データベース提供課題， 公用データベース用ソフトウェア開発課題の申請について

標記申請を下記のとおり受け付けます。公用データベース、公用データベース用ソフトウェア開発課題は、申請されたものの中からデータベース委員会で審議の上、決定されます。公用データベースと認められますと、開発、構築、維持に必要な利用負担金の一部または全額免除されます。

### 記

1. 申請資格 本センター利用有資格者
2. 申請締切 平成5年3月1日（月）
3. 申請手続 所定の申請書に必要事項を記入の上、データベース室（内線 2 5 1 0）まで提出する。  
（申請書はデータベース室に用意してあります。）
4. 対象課題 広範囲の研究者により学術研究上必要とされ、継続的かつ頻繁な利用が見込まれるデータベース、及びデータベース用ソフトウェア

（データベース室 内線 2 5 1 0）

e-mail: furukawa@cc. kyushu-u. ac. jp